

特別展

# 絵画とモチーフ

室内を描き続けた画家 小磯良平のアトリエより

'93 6月12日(土) ▶ 7月25日(日)



室内のレリーフ 1967年



## 同時開催 収蔵作品展Ⅱ

- 挿絵原画展(一)  
「古都」(川端康成著)

開館時間/午前10時から午後5時まで  
(入館は4時30分まで)

休館日/月曜日

主催/神戸市立小磯記念美術館

神戸市立小磯記念美術館

〒658 神戸市東灘区向洋町中5丁目7 TEL.(078)857-5880

交通 新交通・六甲ライナー「アイランド北口駅」下車すぐ  
(住吉駅から7分、魚崎駅から5分)

# 特別展 絵画とモチーフ



三人の女(上)の人物 制作年不詳  
神戸市立小磯記念美術館蔵



神戸市立小磯記念美術館の中庭には、小磯良平が昭和24年に建てたアトリエが移築・復元されています。このアトリエには、絵画に描かれた様々な資料も残されていますが、現在、美術館に移築したアトリエでは、資料を永く保存するため、残されていた資料のうち、一部しか展示していません。



「絵画とモチーフ」展では、通常アトリエで展示していない、人形、コスチューム(衣装)、楽器など、小磯良平が絵画のモチーフとして好んでとりあげた資料を、それらが描かれた絵画作品とともに展示します。



リョウのある女性 1956年  
神戸市立小磯記念美術館蔵

「構図という問題はモチーフと共に画家にとっては永遠に続く大切な事である。」と小磯良平は語りました。小磯良平の選んだモチーフは、どのように構成され、ひとつの作品を成立させたのでしょうか。

「絵画とモチーフ」展では、アトリエという限られた空間のなかで展開した、小磯良平の理想世界の原点に立ち合ってください。



西洋婦人(エスタラ) 1964年  
神戸市立小磯記念美術館蔵

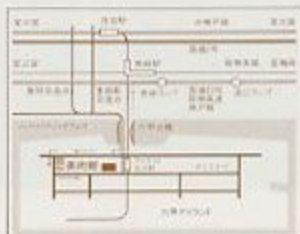


## 入館料

	当日	前売	団体
一般	500	400	350
大学生	400	350	300
高校生	350	300	200
小中学生	200	150	100

※団体は30名以上

前売は市内プレイガイドなどで発売



交通 新交通・六甲ライナー「アイランド北口」下車すぐ  
(徒歩約1分、美術館から5分)

## 次回展覧会のお知らせ

8月3日(土)▶9月19日(日)

### 収蔵作品展Ⅱ

小磯記念美術館収蔵の小磯良平の作品を展示します。

展示室 1・3 油彩

展示室 2 挿絵原画展(二)

「古都」(川崎康成書)